Governor's Monthly Communication

2018-19年度 国際ロータリー第2790地区

To Club Presidents and Secretaries in District 2790 (CHIBA)

CHIBA

月信

6

June 2019

京成バラ園

第十二グループ八千代市の「京成バラ園」
世界中のバラが香り高く咲き誇り、千六百品種
一万株を超えるバラの競演を楽しめます。

BE THE INSPIRATION

ロータリー親睦活動月間

Rotary

地区行動指針 「伝統と未来」～誇りと連帯感～

ガバナー公式訪問　四街道 RC・佐倉中央 RC　2018 年 11 月 27 日

国際ロータリー第 2790 地区
2018-19 年度 ガバナー **橋岡 久太郎**（佐倉中央RC）

－　「ロータリー親睦活動月間」によせて　－

お世話になりました。
BE THE INSPIRATION「インスピレーションになろう」
「伝統と未来」～誇りと連帯感～

会長の皆様方、皆様宛のガバナー月信も遂にめでたく6月号ファイナルを迎えることができました。

そして、今年度を支え何時も的確なるご教示とご指導をくださいました、パストガバナー (以降 PDG) 﨑山征雄 地区研修リーダー、PDG 研修サブリーダーの得居仁様、関口徳雄様、宇佐見透様、青木貞雄様、心より感謝申し上げます。

また、見事にして素晴らしいサポートをしてくださったガバナー補佐の皆様と各委員長、委員の皆様方、約一年半の長きに亘ってありがとうございました。

皆様方とのご縁、嬉しくこれからも末永くよろしくお願い申し上げます。

私たちの年度 2018-19 年度は、平成から令和へと元号の改元を経験するという歴史に残る年度となりました。「令和」は、日本最古の和歌集「万葉集」の一節で、天平二年 (728 年) に太宰府の大伴旅人の屋敷で催された「梅花の宴」で詠まれた三十二首の序文から採られました。中国の史書からではなく、初めて国書に典拠を持つ極めて意義のある元号です。「令和」の「和」から新時代も、日本の良き心、「和」の心を伝えて行くべきだと思います。まさに国際ロータリー (RI) の求むる世界平和の原点が「和」ではないでしょうか。

そして、今月はロータリー親睦活動月間です。ロータリーは、さまざまな国や文化から同じ関心事を分かち合う会員が集まるロータリー親睦グループを通じて世界中に広められた「親睦」という概念を土台としています。このロータリー親睦活動によって、我々は生涯にわたる友情を築くだけでなく、自らの関心を保ち、活動への意欲を一層高めながらロータリーに積極的に関わっていくことができます。

ロータリー親睦活動は、エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったことをきっかけに、1928 年に非公式に始まり、1947 年にはボート好きのロータリアンのグループが、自分たちの船にロータリーの旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗り始めました。ロータリー親睦活動の範囲は月日を経て変化してきていますが、今日でも変わらぬその目的は、友好の下に我々ロータリアンを結び付け、各々が楽しみとする趣味やレクリエーションまたは職業的活動の場を提供することです。

皆様方のクラブ、グループ、地区で行われている親睦奉仕活動を改めて確認頂き、積極的な参加をお願い申し上げます。

１年間を振り返って

地区研修リーダー
パストガバナー　**崎山　征雄**
（習志野中央ＲＣ）

石　橋（しゃっきょう）

獅子は想像上の霊獣、知恵を司る 文殊菩薩の乗物、
邪悪を威嚇し退ける 獅子の勢いは、
万物を包む仏の慈悲の裏返し、
仏の霊地の牡丹に、舞い狂う獅子の舞、
演者渾身の気魂の舞台

2018-19 年度は橋岡久太郎ガバナーの渾身の一年でした。

バリー・ラシン RI 会長の RI テーマ「Be The Inspiration」を「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションをクラブやロータリアンに与えてください。自分より長く、後世に生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出して頂きたいのです。」と受け止め、そのためのリーダーシップの発揮を強く要請し、地区にさらなる柔軟なパワーをと、地区テーマとして「伝統と未来」誇りと連帯感とのロータリーの歴史の継承の中から、地区のリーダーシップを提唱しました。そして、大きなことを夢見よう！決して途中であきらめてはいけない。否定的な考えで自分をダメにしてはならない。今日だけを生きるのではなく明日に期待しよう。

あなたを成功へと駆り立てるような習慣を育てるのだ。

一つの命を救う者が世界を救う。私たちは皆毎年毎年違った人間になる。

一生同じ人間であるとは思わない「スティーヴン・アラン・スピルバーグ」橋岡久太郎ガバナーは、１年間を重い荷物を背負ってひたすら頂上を目指した登山のように下界を振り返るゆとりもなく、勢い付けて一生懸命登ってゆきました。

そして今、下山の時が来たのです。満足感で充足して下界を眺めて美しい高山植物に、雷鳥に、雲海を愛でながら無事最後まで降りることです。終わり良ければすべてよし。

人の一生を中国では、青春、朱夏、白秋、玄冬、と表し、青春の次に真っ赤な燃えるような夏、その後ろに白秋が見え、白秋の後ろに黒々とした冬が控えているという思想です。

人が生きている喜びを謳歌する時、それが失われる時がかすかに後ろに見えていてこそ一層鮮烈に感じられる。玄冬の玄は幽玄の玄、玄妙の玄、深くつややかな黒で、そこからまた新しいものが始まるとか。今、我々の多くが白秋期、老いるのではなく、熟成して質感が限りなく高まり、まろやかに、自然に回帰してゆく（あたかもヴィンテージワインの如く）季節です。
腐るのではありません、熟成するのです。

本年度地区研修リーダーとして、無事終わる事を感謝いたします。これからも豊かに人生を生きてゆきたいものです。

●ロータリアンに求める姿

皐月の空の鯉のぼりはロータリーの夢・登竜門の滝を登って竜になるのか、はたまた口先大きく中身なく風に吹かれて泳いでいるのか、第 2790 地区の空を力強く泳ぎまわる素晴らしい「竜」になりましょう。

１年間を振り返って

管理運営担当
地区研修サブリーダー
パストガバナー　**得 居　仁**
（松戸東ＲＣ）

「職業奉仕を大切にしたい。」と繰り返し説いておられる橋岡ガバナーの指名により管理運営担当研修サブリーダーを務めてまいりましたが、増谷信一管理運営統括委員長の卓抜なリーダーシップと温和で素晴らしいお人柄、そして文字通り一体となって委員長を支られた小林亘副委員長のお二人の働きによって、これといったお手伝いをする必要もなく、お役に立つことのなかった1年間でした。

櫻井守会員増強・維持拡大委員長、神野美明フェローシップ・親睦活動委員長、平野一隆広報・公共イメージ向上委員長、並木鷹男ロータリー研修委員長、今野文明 RLI 推進委員長をはじめとする、それぞれの委員会委員の皆様の献身的な1年間の地区への奉仕活動は、大変見事なもので、地区内クラブ・ロータリアンの、橋岡久太郎ガバナーの地区テーマ「伝統と未来」～誇りと連帯感～達成に大いなる貢献を果たしたものと確信し、管理運営統括委員会所属委員すべての皆様に心より感謝申し上げます。

バリー・ラシン RI 会長は、PETS 開催直前の「ロータリーの友」３月号で「職業奉仕はなくしたくないロータリーの伝統である。」と明言され、更に、職業奉仕月間に際して、「ロータリーの友」1月号に、「仕事を通じてロータリーの理念を実践するのが職業奉仕なのです。」とする RI 会長メッセージを出しておられます。RI が職業奉仕を時代遅れのものとして等閑にしていると、声高に叫ぶのは、何ら正当な根拠のない、為にする論であるとの確信を更に深めることの出来た幸せな1年間でした。

今年度を振り返って

米山記念奨学会担当
地区研修サブリーダー
パストガバナー　**関口　徳雄**
（浦安ＲＣ）

橋岡年度が地区運営において相当の成果を得て、年度の終わりを迎えましたこと、誠にご同慶の至りです。

崎山研修リーダーを中心に私を含め４人のパストガバナーによるサブリーダーという異例の研修チームのもと、さぞかし橋岡久太郎ガバナーも遠慮があったものと拝察します。

しかしながら我が地区の将来を見据えた「戦略計画委員会」での委員長としての指導力は十分なものがありました。今後は一委員として我が地区の継続的な発展のため、後輩を指導して頂きたい。

ところで我が地区からは、過去 RI 理事等いわゆる RI の運営に関与するような人材を輩出していません。何が原因なのか判然としないが、一つだけ明確なのは新進気鋭の若いガバナーが出なかったからであると思う。その点、橋岡久太郎ガバナーは６０歳、寺嶋直前ガバナーはもっと若く、諸岡ガバナーエレクトは勉強熱心な弁舌さわやかな荘子、漆原ガバナーノミニーに至っては数少ない女性ガバナーであって、しかも 50 代前半、その次の梶原ガバナーデジグネートも５０歳後半という若さですから、我が地区も捨てたものじゃありません。明るい未来が予想されます。是非とも地区の外に打って出て活躍して頂きたいものです。

さて私の担当の米山記念奨学会ですが、ベテランの冨委員長のもと順調に運営がなされました。私自身公益財団法人の理事に任命されておりますが、理事会そのものは 6 月に予定されており、いまだ出席の機会がありません。

しかし過日、全理事に対し理事会及び法人の在り方についてのアンケートがありましたので、「昨今の繁栄はともかく、一般論として制度や組織が 50 年も経過すると、何らかの制度疲労的なものが発生するものなので、米山記念奨学会もある種の改革ないしは見直しが必要なのでは」と回答しておきました。

それでは一年間お付き合いを頂きましてありがとうございました。

１年間を振り返って

奉仕プロジェクト担当
地区研修サブリーダー
パストガバナー　**宇佐見　透**
（千葉幕張ＲＣ）

散り行く桜吹雪の中、月信 6 月号発刊に向けて、2018-19 年度橋岡ガバナー年度を振り返る時を迎えています。橋岡久太郎ガバナー、崎山研修リーダーより地区組織を編成するにあたり、奉仕プロジェクト委員会をサポートする旨の委嘱を賜り統括委員長の平野弘和（木更津 RC）氏を始め、鵜澤和広（千葉若潮 RC)、高橋潤一（新千葉 RC)、清水隆（千葉若潮 RC)、金本元章(柏西RC)各委員会委員長と前年度の 12 月、次年度活動方針を話し合い１年半が経過しました。この間５人の委員長の皆様は、日々各クラブ活性化を目指し膨大な数のメールのやりとりを通じ、忌憚のない意見交換がなされました。

中でも橋岡久太郎ガバナーエレクトが国際協議会から戻られ、ロータリーの基本である職業奉仕の更なる理解を地区研修委員会と共にロータリー情報研修会の主テーマとして欲しいとのミッションには頭を抱え込みました。並木鷹男研修委員長も加わり、地区内１４グループ全てのロータリー情報研修会を分担し、コーディネーターとして一生懸命取り組んだ結果「理解できたよ。何となく胸のつかえがスッキリした。」と好評価を頂きました。年度開始前から半年にわたり毎週コツコツとパワーポイントを作成した委員会の努力が報われた瞬間と感じました。年明けの後期は、本来の活動に戻り、財団委員会と共催でセミナーを開催し各クラブへ地区補助金によるプロジェクト（PJ）開発のお手伝いをさせて頂きました。PJ における資金使途がクラブ活性化に繋がるよう申請書作成のアドバイスを行ったり、財団委員会より PJ 内容の完成度評価を依頼され意見も申しあげました。長きにわたった委員会を終えるにあたり、統括委員長をはじめ各委員長の努力に敬意と労いの賛辞を送ります。

今年度を顧みて

青少年育成担当
地区研修サブリーダー
パストガバナー　**青木　貞雄**
（成田コスモポリタンＲＣ）

テーマ「伝統と未来」～誇りと連帯感～の下に活動を展開した橋岡年度が、成果を上げて終わろうとしていること、誠におめでとうございます。

橋岡久太郎ガバナーは、第５の奉仕が目指す青少年育成事業を青少年奉仕委員会から分離独立させた地区組織を編成しました。

この結果、中澤統括委員長以下、委員会の皆さん

は、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、及びRYLA活動を、ハラスメント問題等を起こすことなく、順調に完遂しました。同時に、ラシンRI会長の求めに積極的に取組む橋岡久太郎ガバナーの意に応え、ローターアクトクラブの新設等にも寄与しました。

私は、これらに何等直接的貢献をしていませんが、振り返ると、本委員会の活動・事業は、対象が非ロータリアンであること、クラブに費用負担が発生すること、一部に専門知識が求められること等々もあり、事業参加クラブが特定少数であると共に、参加者が減少している事業もある点は改善が必要です。活動に対するクラブの理解深化、及び事業参加クラブ拡大への取組強化が、今後も求められます。

事業内容の再検討、及び拡充、並びに、最近3年間、早期帰還問題が発生している青少年交換長期派遣生の現状改善等も対応すべき課題です。

尚、他地区でも同様の問題が発生している青少年交換事業については、相手国の対応・状況に関する情報収集、及び状況改善策等について他地区と連携して取組むと共に、派遣生に対する研修等にも工夫が必要と考えます。

1年間を振り返って

管理運営統括委員会
統括委員長　**増谷　信一**
（柏西ＲＣ）

橋岡ガバナー年度の管理運営統括委員会は、管理運営部門の「会員増強・維持拡大委員会」「フェローシップ・親睦活動委員会」「広報・公共イメージ向上委員会」研修部門の「ロータリー研修委員会」「RLI推進委員会」の5委員会でスタートを致しました。

会員増強・維持拡大委員会は、8月に「会員増強・維持拡大セミナー」を開催し、2名あるいは10％純増のいずれかを目標とし、会員増強を進めて参りました。

フェローシップ・親睦活動委員会は、「野球リーグ」「二輪の会」「女性会交流会」「スリランカクラブ」に対して助成金の交付や活動を応援して来ました。

広報・公共イメージ向上委員会は、「イメージブランディングガイドブック」を作成し広く広報活動を周知して参りました。

ロータリー研修委員会は、地区内14グループの『情報研修会』にガバナー補佐と共に、奉仕プロジェクト委員会と連携し開催して成功委に終わる事が出来ました。

RLI推進委員会は、ロータリーの情報提供及び考査を広く会員に紹介し、18カリキュラムを基本にパートⅠ・Ⅱ・Ⅲと卒業コース迄、プログラムに沿った養成講座を行いました。

最後に成りますが、得居研修サブリーダーを始め、小林副統括委員長並びに五委員長の皆様、一年間大変お世話に成りました。

1年間を振り返って

奉仕プロジェクト統括委員会
統括委員長　**平野　弘和**
（木更津ＲＣ）

当委員会は、9月に奉仕プロジェクト推進セミナーを開催し、地区内83クラブの皆様に奉仕活動の重要性について理解いただけるように働きかけました。その後の活動としては地区研修委員会の要請により「職業奉仕について再考する」をテーマに13のグループで開催された情報研修会のプレゼンを行いました。さらには、ロータリー財団統括委員会と協働し地区補助金申請の奉仕プロジェクトの内容について審査し、その結果を財団委員会に申し送り、補助金額決定の参考にしていただきました。このように、今年度の当委員会は地区内他委員会との連携を積極的に進めてきました。

こうした活動を通して、改めて「ロータリーとは」「ロータリアンとは」という投げ掛けを自分自身に向けてきた日々であったと感じています。奉仕プロジェクト委員会の役割、活動について、年度当初に「月信」に寄稿させていただきました。当委員会は、どのようにして奉仕活動の重要性を伝えるか常に前向きに取り組んできましたが、達成緩を確かな者にできずに終わろうとしていることが残念です。5月に青少年奉仕委員会主催のコンサートが予定されています。これを成功させて達成感を確かなものにして終わりたいと考えています。地区内クラブの皆様のご協力を改めてお願いします。

1年間を振り返って

青少年育成統括委員会
統括委員長　**中澤　良夫**
（四街道ＲＣ）

統括委員会を預かるにあたり各委員会には予算厳守と危機管理の実行を合言葉にするとともにバリー・ラシンRI会長と橋岡久太郎ガバナーの意向を受けて積極的な委員会運営を目指しました。

ロータリーの常設プログラムとして長年の恒例行事を持ち、高等学校等の機関と連携しての行事を予算削減と危機管理を行いながら各委員会は委員長以下とても良い運営をして頂けました。

ローターアクト委員会では、増設、増強を掲げて会員の勧誘や各ロータリークラブへの広報を行い5月16日には千葉マリンローターアクトクラブ、6月26日には鴨川ローターアクトクラブ、佐倉中央ローターアクトクラブの設

立を手伝わせて頂きました。

インターアクト委員会では一つ一つの行事を丁寧に運営して頂けました。

特に年次大会では鴨川 RC の皆さん、指導者講習会では松戸 RC の皆さんにホスト校スポンサークラブとして素晴らしい大会を催して頂きました。

青少年交換委員会では、交換留学生や交換留学候補生の一人ひとりに丁寧な指導と迅速なサポートを随所に行っていただくと共に広報にも力を入れて頂きました。

RYLA 委員会では、限られた予算の中で効果的なセミナーを開催するにあたり広報活動、各委員会間の協力体制、具体的な危機管理策を講じて頂きながら素晴らしいセミナーを開催頂きました。

各委員会を代表しまして応援頂きました各ロータリアン、各ロータリークラブの皆様に感謝申し上げます。

財団委員会の年度末

ロータリー財団統括委員会
統括委員長
パストガバナー **櫻木 英一郎**
（千葉ＲＣ）

当委員会は RI の意識が共通認識になっている地区内唯一（笑）の委員会です。また、毎年の年度末の最大の悩みが寄付の集まり具合と補助金の報告書の出具合です。

寄付はお陰様で「寄付ゼロクラブがゼロ」が4年継続できそうです。（3月末現在） それでも数年間の年次寄付の個人平均額は関東圏10地区でダントツ最下位です。その原因は「寄付は義務ではない」、「金集めの RI は間違っている」という認識。一方では「神に寄付する事と同じ」という、寄付増進の意味では有難い見解もあり、寄付への認識は様々です。「組織運営は安い会費で、活動は寄付金で」が世界の常識です。

財団への寄付は地元や地球規模の活動資金のプールと言う認識をお願いします。補助金は各クラブの活動を資金面で支援しますが、公金である補助金には細かい規定と報告書が厳格に求められます。これはロータリー財団本部（TRF）のルールで、違反すると最悪は翌年の補助金枠が我が地区に配分されない事にもなります。

皆様のご理解で恙なく年度末を迎えられるよう更なるご協力をお願い致します。

１年間を振り返って

地区米山記念奨学委員会
委員長 **冨 一美**
（成田空港南ＲＣ）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、昨年度、記念すべき財団設立50周年を迎え、本年度はまた新たな節目に向けての第一歩の年でございました。

さらに本年度記念すべきは、当地区米山学友会が設立25周年を迎えたことでした。

地区大会2日目に米山学友会主催で「米山学友会25周年記念の集い」として祝賀の行事が開催され、当地区ロータリー学友会代表（ローターアクト・ロータリー財団）をはじめとして、近隣から東京・茨城・埼玉の米山学友会代表の皆さん、米山奨学生、関係ロータリアンの皆さんにご参加をいただきました。

それから、2019年3月9日に、平成最後に成る2018学年度の奨学生21名は、お陰様をもちまして、「報恩の思い」を胸に抱いて無事終了式（卒業式）を迎えました。

全国レベルでは、今年度の卒業生は854人（2018年４月現在）で、超我の奉仕「Service Above Self」というロータリーの精神を持った学友は、累計で、なんと約20,398人を世の中に送り出したことになります。

私は、卒業生の皆さんに、これから米山学友として、又、ロータリー家族として、常日頃心がけて行くことが望ましいことをいくつか申し上げました。

本当に大事なのは、米山学友となったこれからが大事だと…

そして、米山学友として、日本と母国、さらには世界とを結ぶ「懸け橋」になっていただくよう心掛けていただくこと…

そして、お世話になった世話クラブやカウンセラーさんへの何よりものご恩返しというのは、皆さんがそれぞれの形で、平和構築のために身近なところや国際社会で活躍する人材に育っていただくことだと…

つい最近、国際ロータリー学友担当部発行のロータリーの学友向け「リコネクト」というニュースレターで「米山奨学生の底知れぬ可能性にふれて」と題して掲載されましたが、その中で、ロータリー会員からの支援を受け、これからも米山の歴史は語り継がれ、未来の平和を担う奨学生が育っていくことでしょう。とありました。

長いスパンになるかもしれませんが、ロータリーが蒔いた平和の種が花開き、これから先も彼らが活躍してくれることを期待して、1年を振り返ってのご報告とさせていただきます。

ガバナー補佐一年間を振り返って

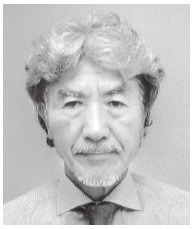
第1グループガバナー補佐

内田　良男（市川東ＲＣ）

バリー・ラシン RI 会長のインスピレーションになろうというテーマのもと、そして橋岡久太郎ガバナーの「伝統と未来」～誇りと連帯感～という地区テーマのもとに一年間ガバナー補佐の役目を務めさせていただきましたことは、苦労もしましたが私自身大変勉強になったと感謝しております。

真夏のクラブ訪問から始まり、ガバナー公式訪問、情報研修会、ゴルフコンペ、IM と続き、又その前後 7 回の会長幹事会に於いて意思疎通を諮りながら、なんとか形を調えることが出来ましたことは、各クラブのご支援ご協力と補佐幹事並びに事務局のバックアップなくしては出来なかったことですので、この場をおかりして御礼申し上げます。

平成から令和に時代は遷り、世界と日本に大きな変化の兆しが表れてきております。国際ロータリークラブにおいても地区においても同様です。この中で我々はロータリーの基本を護りつつ変化に対応するべきものと考えます。すなわち伝統と未来です。1 年間有難うございました。



第 2 グループガバナー補佐

田中　一邦（船橋南ＲＣ）

まず、この私をガバナー補佐に指名してくださった船橋南ＲＣの皆様に感謝したい。わずか 14 名のクラブからガバナー補佐を出すことに対してクラブは大変だろうと思う。私にこの大役を任せることは船橋南 RC クラブも相当なリスクを負い悩んだに違いない。私としては又とない貴重な経験ができることに喜んでいた。わずか 14 人の会員の船橋南 RC がガバナー補佐を引き受けるのは大変かもしれないが、優秀な若い二人の補佐幹事平野さんと大島さんをつけていただいたことで何とか一年間を過ごすことができた。残すところは「ハンブルグの国際大会」と「フェアウェルパーティー」になった。一年間は多忙ではあったが、橋岡久太郎ガバナーの補佐を仰せつかったことは私にとって、幸運であった。橋岡久太郎ガバナーは三歳で能楽初舞台を踏み、日本の文化遺産である伝統芸能「能楽」を世界各国を回って広めているお方。そのような偉大な人の補佐をするということはとても光栄なことであった。お陰で「おもしろ能楽勉強会」や「船弁慶」「蝋燭能」の舞台も鑑賞することができた。これからも日本の伝統文化に親しみ日本人らしくなりたいと思う。

RI バリー・ラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」橋岡久太郎ガバナーの地区テーマは「伝統と未来」～誇りと連帯感～。情報研究会テーマは「職業奉仕」が与えられた。IM のテーマは自由に任された。「平和フェローについて」委員長、織田さんの「平和フェロー」についての講演と青木さんのコーディネートでカウンセラー経験者のパネルディスカッション。「平和フェローがよく分かった、興味を持った」と好評を得た。早速、みなとクラブの石井さんが「平和フェローカウンセラーに立候補してくれた。3 月 27 日、「ポリオ撲滅チャリティボウリング大会」を開催した。45 名の参加で楽しくやれた。思いのほか寄付が集まり、財団のほうに 12 万円以上の寄付をすることが出来た。橋岡久太郎ガバナー事務所からは「2790 地区協賛」と「ロータリーデ－」の「幟（のぼり）」2 本を借りて「ポリオ撲滅」とロータリーの宣伝が出来た。又、諸岡ガバナーエレクトからおいしい「米屋羊羹ともなか」の差し入れを頂き参加者の皆様に喜んでいただいた。ガバナー補佐エレクトの青木さんが「来年もポリオ撲滅チャリティボウリング大会をやろうかな?」と言っていた。参加者の皆様にお配りした「ポリオ」チラシはロータリーポリオプラス委員長の山本美代子さんに多忙なところ無理にお願いして作っていただいた。多くの皆様のお力を借りて成功の裡に終えることが出来た。今後も続くことを願っている。

今年の私の「夢」は 11 月のキリマンジャロ（5,895M）登頂！頂上で「荒城の月」を吹奏することだったが 4,673 m地点で相棒のQちゃんともども「高山病！」と言われて下山を余儀なくされた。50 年ぶりのアフリカなのに最高峰は甘くはないと思った。2021 年 3 月に 75 歳の節目に再度挑戦することにして現在、船橋山岳会に入会、山の知識のイロハから勉強している。

時に、初春の令月（れいげつ）にして、気淑く風和ぎ（きよかぜやわら）…万葉集からと聞いている。何とも言えない、さわやかな美しい響き…「令しく和（うるわ）に生（い）きる」と令和元号を考えられたと言われる中西進さんは新聞に書とともに投稿されていた。私の母は「令和元年」を見ることなく、2018 年平成 30 年 10 月、私がキナバル山 4,095 m頂上で「荒城の月尺八吹奏」しているときに天国に旅った。享年 104 歳。それまで毎月北海道に慰問に行くのが習わしだった。それがなくなったのはさみしい。

ロータリークラブが私に挑戦の「勇気」をくれる。人生は挑戦の連続。やりたいこと、目的に向かって挑戦することが命の真実と思う。これからも面白おかしく愉快にロータリー人生をやり続けたいと思う。この一年間は貴重な体験の連続でした。皆様、ありがとうございました。

第３グループガバナー補佐

宍倉　壽夫（千葉東ＲＣ）

橋岡年度もいよいよ残すところあと1ケ月となりました。改めてこの1年間を振り返ってみますと、疾風のごとく過ぎ去ったというのが正直なところです。

分区からグループへの名称変更やガバナー訪問が従来の1クラブ単位から数クラブ合同で開催されるなどへの戸惑いがありました。情報研修会では地区ロータリー研修委員会主導による職業奉仕についての研修を地区のトップバッターとして開催し、宇佐見研修サブリーダーや並木研修委員長に大変お世話になりました。

ガバナー補佐としての私の役目としては合同幹事会などを通じたグループ内の情報共有に力点を置きました。その意味で、第4グループとの共催でIMを開催し、パネルディスカッションで直前会長の皆さんの忌憚のない意見は他クラブの現状を理解するうえでおおいに役立ったのではないかと思います。

この1年間、微力ながらガバナー補佐の役目を無事果たせたことは、グループ内各クラブ会長・幹事をはじめロータリアンの皆様のおかげであると感謝申し上げます。

結びに、同志の第4グループガバナー補佐の山崎喜雄さんが、志半ばで急逝されましたことに心からご冥福をお祈りします。

第５グループガバナー補佐

吉野　和弘（君津ＲＣ）

第5グループの皆さま、ＲＩ会長バリー・ラシン氏の本年度のテーマ「インスピレーションになろう」、橋岡久太郎ガバナーの地区テーマ「伝統と未来」～誇りと連帯感～を胸に掲げ、１年間行動して頂きまして誠にありがとうございました。この時期になると1年間の事業が、走馬灯のように頭の中を流れていきます。地区大会、情報研修会、インターシティミーティング、親睦チャリティーゴルフ、各ある事業にたくさんの参加をいただき、熱心に討議、前向きな各クラブ事業計画を、着実に実行していただきましてありがとうございました。力不足で至らない事が多々あったと思います。この場をもってお詫びいたします。次年度の小川ガバナー補佐は優しく、行動力のある方です。本年度同様に第5グループの皆さまに、さらなるご協力をお願い申し上げ、御礼の挨拶とさせていただきます。

第６グループガバナー補佐

伊藤　正人（鴨川ＲＣ）

ガバナー補佐の活動方針を、橋岡久太郎ガバナーの地区テーマに共感して「誇りと連帯」としました。第6グループの各クラブ会員がロータリアンであることに誇りを持ち、活動に関する情報を共有・協力することによってクラブの活性化、会員増強を意図したものです。

現段階で振り返ってみますと、この目的は、100点とはいかないまでも60点ぐらいは達成できたのではないかと思っています。

ガバナー補佐として、各クラブへの訪問、ガバナー公式訪問への随行、情報研修会ならびにインターシティ・ミーティングの開催を通じて、私自身グループ内各クラブの活動状況などを知ることができ、また会員の皆様との面識を深め、おおいに懇親を深められたことで、とても有意義な1年でした。特に、公式訪問においては橋岡ガバナーの優しいお人柄に触れることができたことは嬉しかったです。

橋岡久太郎ガバナー、ガバナー事務所の皆様、地区委員の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。また第６グループ各クラブ、鴨川クラブの会員の皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。

第７グループガバナー補佐

髙山　義則（大網ＲＣ）

私は、ガバナー補佐を拝命したとき、14年間RCに所属しながらも勉強不足のため、ガバナー補佐を簡単に引き受けた事に後悔しました。

しかし、ガバナー補佐会議での橋岡久太郎ガバナーの考え方や、崎山研修リーダーのご指導もあり、少しづつロータリーの素晴らしさが分かってきました。

クラブ訪問をする度に温かく迎えていただき、知り合いも増え、他クラブの色々な面が見えるようになり、私自身とても勉強になりました。その反面、グループのためになったか心配しております。

４回のクラブ訪問、ガバナー公式訪問、情報研修会、IM, 第7グループゴルフ大会、会長幹事会親睦旅行等多種多様な行事を通して、各クラブの様子や実態を知る事ができ、大変有意義な経験をする事ができました。また、反省できた事に感謝申し上げます。今後は、この経験を活かし、地区やグループに恩返しをして参りたいと思います。

最後に、いつも一緒に行動してくれた石田ガバナー

補佐幹事、各 RC 会長幹事、第7グループの皆様、ご協力ありがとうございました。

第 8 グループガバナー補佐

高橋　宏資（銚子ＲＣ）

橋岡久太郎ガバナーが掲げる地区テーマ『伝統と未来』のもと、1年間ガバナー補佐として第 8 グループの4クラブと地区の橋渡しの役目を無事遂行することができました。

本年度の情報研修会では、地区が主体となり「職業奉仕について」の基本的な考えを講演していただき、第 8 グループの会員の皆さんは新たなる感動を受けたと思います。また、IMでは『親睦』をテーマに第 8 グループ間の交流と、家族の参加を積極的に勧めることにより、家族のロータリーへの理解と会員のロータリー活動を応援していただく第一歩となったことと思います。そして、ロータリーの素晴らしさを見直していただけたと思っております。私自身も、ロータリーは親睦から始まり友情を育み、自らの職業に役立て、地域社会に貢献・奉仕する団体であることを改めて認識いたしました。

地区役員の皆さま、第 8 グループ会員・家族の皆さま、1 年間多大なる御支援、御協力、本当にありがとうございました。

第 9 グループガバナー補佐

田中　量教（佐原ＲＣ）

ガバナー補佐という大役を引き受け、ロータリー活動を改めて考える一年となりました。

第9グループ内のクラブ例会を訪問する機会も多く、大勢の会員の皆様との出会いが増えました。

公式訪問例会に於ては、4クラブ全てのクラブで橋岡久太郎ガバナーに同席させて頂き、懇親会をを通してガバナーの思いを強く感じる事が出来ました。

「わかりやすいロータリー　職業奉仕を再考する」テーマの情報研修会、日本将棋連盟常務理事　森下　卓九段を迎えたIM、グループ内親睦ゴルフ大会、それぞれの行事に参加して頂いた会員の皆様と親睦を深める事が出来ました。

改めまして、橋岡久太郎ガバナーの卓越した指導力、グループ内会長、幹事様のご協力、また、グループ内会員皆様方のロータリーの友情に感謝申し上げます。

第 10 グループガバナー補佐

石川　邦紘（成田コスモポリタンRC）

一昨年の10月に突然の指名でガバナー補佐を受けることになりました。私自身出席免除会員となり、ゆっくりとロータリー活動を楽しみたいと思っていたところでした。

幸いに、補佐幹事、副補佐幹事を付けて頂いたので、無事にロータリー情報研修会、IMの2大事業を終了することができました。ガバナー公式訪問につきましては、第10グループ内を成田単独、コスモ・富里・八街グループと印西・白井グループの3グループに分けて行われ、橋岡久太郎ガバナーの仲良く、楽しくというロータリー精神に助けられて無事に終了することができました。会長幹事会もグループ内の皆様に助けていただき、各ロータリーの持ち回りで情報交換がスムーズに行われました。

私は35年間ロータリーに在籍しておりますが、今回ガバナー補佐を受け、改めて学び直しをさせて頂いた有意義な1年であったと思っています。改めて、ガバナー補佐幹事横山英樹様、副幹事吉岡正之様に御礼申し上げます。

第 11 グループガバナー補佐

溜川　良次（柏ＲＣ）

橋岡久太郎ガバナーのテーマ「伝統と未来」～誇りと連帯感～は、「理念と実践」～ Think Next ～を唱えられた前年度を基本的に受け継いだものと、私は理解してきました。「職業奉仕」の位置づけについて“伝統的議論”が当地区内にも現存することを意識されて、橋岡久太郎ガバナーは終止符をやさしく打てればとご努力を重ねられたのではないかと勝手に解釈しております。寺嶋パストガバナーは指針に「最も大切である親睦の要素に希薄であった」と自身を振り返られましたが、橋岡久太郎ガバナーは根っからの明るい人柄なのか、理屈を超えて雰囲気をおつくりになった年度だと感じております。グループの活動では、多様化が叫ばれる時代に託けて、会長さん達に親睦事業を検討いただいたところ、ゴルフとボーリングの選択制で実施することができました。ロータリアンの柔軟性や寛容性、能力の高さに触れた経験をさせていただき感謝しております。だから“ロータリーはおもしろい”のかもしれません。

第 12 グループガバナー補佐

飯生　高一郎（八千代ＲＣ）

ロータリーの初期の目的（綱領）が「親睦と奉仕（職業奉仕）」であったことから、橋岡久太郎ガバナーの本年度テーマ「伝統と未来」・サブテーマ「誇りと連帯感」に焦点を当てて参りました。ロータリーの１１５年に及ぶＲＩの歴史と伝統を深く勉強し、ヴォケーショナルサービスである職業奉仕（個人奉仕）を通じて、ロータリアンの個々の企業が繁栄していくことがすべてのロータリアンの最大の目的である事も認識いたしました。昨年10月開催の宇佐見パストガバナーの熱の入った情報研修会にも多くの会員様に参加いただき有難うございました。また佐倉中央ＲＣが主管し、他の６クラブがコ・ホスト致しました、あの素晴らしかった地区大会。そして第１２グループが全員で迎え、膝を交えて語りあった公式訪問。どの行事も忘れることが出来ない素晴らしい行事となりました。

本年2月に入りこれまた多くの皆様にご参加頂きましたＩＭ、基調講演では﨑山研修リーダーに「ロータリーの伝統と奉仕の理念を語る」と題してロータリーの伝統を詳しく語っていただきました。また、　4月に入り親睦ゴルフをこれまた多くの参加を得まして、名門の「鷹之台カンツリー倶楽部」にて開催いたしました。快晴でもあり、桜の季節でもあり、多くの草花に魅了されて、そしてグリーンは超一流の速さで「出るはため息ばかりなり」と言う、素晴らしい親睦ゴルフ大会となりました。

最後に、一年間ロータリーの目的は「親睦と奉仕」そして職業奉仕に有りと言い続けて来たのが、揺るぎないインスピレーションになったと考えております。多くの皆様のご協力を頂きまして有難うございます。心から御礼申し上げます。

第 13 グループガバナー補佐

野村　充（松戸北ＲＣ）

平成から令和への新しい幕開けをもって橋岡ガバナー年度もフィナーレを迎えます。

令和とは「人々が美しい心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」との意があるそうです。正に橋岡ガバナー年度の一年は時代の先取りをする一年であったような気が致します。

私はこの一年本当に伸び伸びと楽しく過させて頂けました事にまずもって感謝、御礼申し上げます。

外に於いては他のグループの補佐の皆様方や大勢のロータリアンの知己を得ました。

内に於いてはグループ内のパストガバナーの助言を頂きながらすべてのロータリアンの協力を頂きホームクラブが一丸となって様々な行事を行う事ができました。

最後に全ての関係者の皆様に深謝申し上げ一年間の御礼の挨拶とさせて頂きます。

本当に一年間ありがとうございました。

第 14 グループガバナー補佐

張ヶ谷　昇（流山中央ＲＣ）

昨年の６月に拝命をされて緊張感が走りすべて白紙のスタートでしたが、第１４グループ会長、幹事、ガバナー補佐幹事様のご尽力により８ケ月弱が経過いたしました。

ガバナー公式訪問に始まり地区大会、親睦ゴルフ、情報研修会、IM（インターシテイミーテング）と無事に終了し第14グループ各クラブに御礼、卓話訪問を終了いたしました。

初めての経験ですので正直不安がありましたが、クラブの事情によりガバナー補佐の役職を受理いたしました。今現在の気持ちはまだ年度内ですが、達成感があります。

私ごとですが平日毎日2時間のランニングをして年2回のフルマラソンに備えてます。晴天無風条件の良いときの2時間の完走よりも風雨の悪条件の中のランニングの方が完走後の達成感が違います。ガバナー補佐の役職も同じように感じます。今後のロータリー活動に大いに役立つのでは無いかと達成感満足感があります。

来季はクラブ幹事を担当いたしますが、自分なりのペースで会長、会員の皆様にご迷惑を掛けないように役職を全力で全うしたいと思います。

最後に次年度ガバナー補佐担当の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ガバナー補佐一年を振り返り閉めたいと思います。

～ 橋岡久太郎ガバナーが選ぶ今月のロータリアン ～

高橋　宏一（八街ＲＣ）

越部平八郎パストガバナーの思い出

橋岡久太郎ガバナーは、現役の観世流能楽師として、外務大臣表彰受賞者であり世界各地で公演をされておられます。このようにお忙しい立場でありながら、ＲＩ 2790 地区ガバナーとして連日職務に励んでいるお姿には、常に敬服するばかりです。

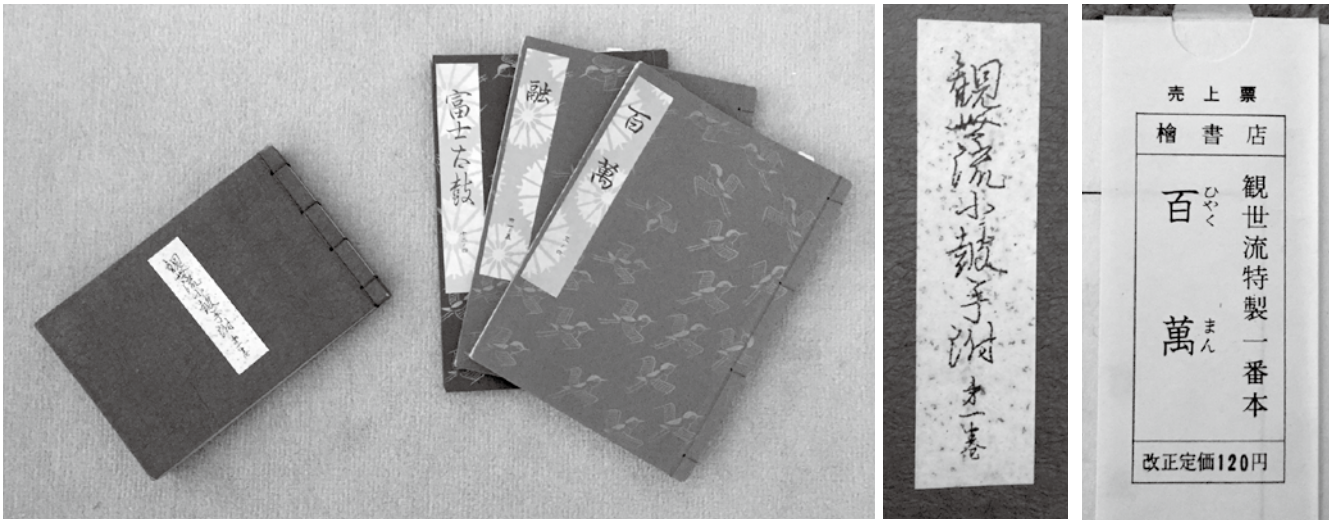
能楽と言えば、私は、当地区 1993 － 94 年度パストガバナーの越部平八郎さんを思い出します。すでに一世代近く前の話で、当時在籍されていた会員も少なくなってきておりますが、越部さんは当時のガバナーとしては、大変ダンディでとりわけ国際人でした。私は越部さんとは同業者で取引先でもあり、昔から深いお付き合いをさせていただいておりました。業界の会合の後の懇親会では、何度か能を舞い、謡（うたい）を披露されたこともありました。

越部さんと私のお付き合いは、私が学校を終えた昭和 42 年、22 歳で家業に着いたその時から始まります。県内のタネ屋の若い後継者の、高知県のハウス園芸地帯の視察旅行に誘われて連れて行ってくれました。また当時、越部さんの会社が育成・販売していた西瓜の品種『旭都　きょくと』が日本全国でトップシェアを占めており、一緒に八街周辺の栽培農家を巡回訪問したり、栽培農家を学校の講堂に集めて栽培講習会を開催したり、そのあと農家と膝を交えて酒を酌み交わしたこともありました。

中でも私の人生の転機になったのが、昭和４４年私が 24 歳の時に越部さんの会社の取引先の社長さんの団体と一緒に、３週間の長期間のアメリカの農業視察に連れて行ってもらったことです。まだ成田空港開港前の事で、１ドル 360 円の固定相場の時代で、私は団体の中で最年少でした。まずカナダのバンクーバーで時差調整のために一泊し、翌日オレゴン州ポートランドに飛び、その日からオレゴン州、ワシントン州、アイダホ州、ネバダ州、カリフォルニア州そしてメキシコのティファナと、総行程 5,000km を超えるバス旅行を越部さんが引率されました。その旅行で受けたカルチャーショックは大変なもので、私は帰国後すぐに父や祖父に店の移転と新築を要求しました。それまでの私の店は、八街駅前にあったのですが、店前の道路が駐車禁止になり、車で来店する農家の人が買い物をしづらくなっていました。そして半年後念願がかない 300 坪余りの土地に店舗と広い駐車場を備えた店になりました。その時一番喜んでくれたのは越部さんでした。

私の父が亡くなってから七回忌まで、命日が近づくと必ず花屋さんから越部さんの札の付いた花が届けられてきました。越部さんの手帳には、私の父の命日だけではなく、親しい方の誕生日や取引先の創業年月等が記されていて、その気遣いには敬服するばかりでした。

2001 年 4 月八街クラブの創立３５周年記念行事では、八街に精通している越部さんに記念講演をお願いし、韓国の地区大会で RI 会長代理を務めた話など興味深いご講演をいただきました。その時すでに越部さんの身体には病の兆しがあったのです。一年後の平成 14 年 (2002 年)4 月に 77 歳で逝去されました。



越部平八郎パストガバナーが使われていた観世流お謡本

文　庫　通　信（376号）

ロータリー文庫は日本のロータリー５０周年記念事業の一つとして、1971年11月に公開された皆様の資料室です。
日本のロータリーは2020年に100周年を迎えます。
今回は1920年東京ロータリークラブ発会から約50年間の日本のロータリーの歴史の中でのいくつかの資料をご紹介します。
特にロータリーの友、ロータリー文庫、米山記念奨学会については発足当時を記述した資料を選びました。これらの中から日本のロータリーの歴史の新たな発見があり、皆様の今後のロータリーライフに生かされることを願います。

文庫資料から

◎ロータリーの歴史年表(2018年12月改訂版)　　諏訪昭登 -　10p
◎奉仕の一世紀　国際ロータリー物語　　デイビッドC.フォワード著;菅野多利雄日本語訳監修　R.I.　331p
◎ロータリー日本五十年史　　-　ロータリー日本50年史編集委員会　430p
◎ロータリー進化論　　前原勝樹 -　19p
◎ロータリー歴史探訪　　田中毅 -　131p
◎新会員のためのロータリーの歴史　　佐藤佶 -　48p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

―― ロータリー文庫 ――
〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル3階　TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp　　開館 :午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース（ハイライトよねやま230号）

今月のトピックス

・台湾の学友、栄誉ある賞に輝く
・寄付金速報 ― 残り2カ月、さらなる支援を ―
・米山学友が絵画大賞を受賞 ― 上野の森美術館大賞展 ―
・博士号取得状況 ― ご報告お待ちしています ―

《今月のピックアップ記事》

台湾の学友、栄誉ある賞に輝く

【日経アジア賞】
台湾海洋大学終身教授の廖一久さん（1965-68／田原ＲＣ）が、第24回日経アジア賞（科学技術部門）を受賞しました。同賞は、日本経済新聞社が新聞創刊120周年を記念して1996年に創設したもので、経済、科学技術、文化・社会の3部門でアジアの発展と繁栄に貢献した人々をたたえる目的で、各部門1人または1団体を毎年表彰。今回で24回目となります。

「エビ養殖の父」として知られる廖さんは、平成26年度外国人叙勲において旭日中綬章を受章。最近のニュースとして、台湾の「廖一久院士之友會」(廖一久院士の友の会)では、文物館を設立、その建設費を募集中とのことです。

今回の表彰式は、来る5月29日に東京の帝国ホテルにて行われます。
栄えある受賞、おめでとうございます！

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→　http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight230_pdf.pdf

千葉マリンローターアクトクラブ結成報告

千葉若潮 RC が創立２０周年記念事業の目玉としてローターアクトクラブの創設に取り掛かったのが昨年の夏でありました。

皆様にご協力を頂き今年4月４日の結成会議を経て14名の会員による千葉マリン RAC としてスタート致しました。

そして５月 16 日にクラブの承認書の伝達式が行われ第２７９０地区の皆様に対してお披露目をすることが出来ました。今後は地区の皆様に可愛がって頂き千葉マリン RAC が大きく育って行く事を心から願っております。

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

吉田 裕成
（千葉南 RC）
20 回目

石井 伸一
（鎌ケ谷 RC）
8 回目

斎藤 昌雄
（千葉南 RC）
7 回目

本吉 光隆
（木更津 RC）
5 回目

正林 義博
（茂原 RC）
5 回目

上野 卓爾
（千葉幕張 RC）
3 回目

秋葉 幸男
（茂原 RC）
3 回目

朱 孝
（習志野中央 RC）
3 回目

渡邉 宏
（茂原 RC）
2 回目

石引 美貴
（市川南 RC）
2 回目

新ポール・ハリス・フェロー

中村 隆則
（東金 RC）

浅野 肇
（柏西 RC）

ポリオ・プラス

諸岡 市郎左衛門
（成田 RC）

朱 孝
（習志野中央 RC）

米山功労者

宮間 尊士
（千葉幕張 RC）
27 回目

斎藤 昌雄
（千葉南 RC）
7 回目

槍木 勝典
（八街 RC）
6 回目

木村 利晴
（八街 RC）
1 回目

新ロータリアン（敬称略）

小林 剛
（館山 RC）
内科医
9 月 5 日入会

川手 龍之進
（習志野中央 RC）
管工事
10 月 4 日入会

武居 政則
（習志野中央 RC）
薬品製造業
1 月 17 日入会

播磨 和紀
（習志野中央 RC）
広告代理
3 月 7 日入会

川崎 貴志
（野田 RC）
学習塾
4 月 1 日入会

大西 達也
（東金 RC）
銀行
4 月 2 日入会

日下部 良夫
（八千代 RC）
運送業
4 月 5 日入会

町塚 栄介
（船橋西 RC）
放送・通信業
4 月 12 日入会

楠原 義章
（君津 RC）
鉄鋼製造
4 月 15 日入会

薮 武
（君津 RC）
窯業
4 月 15 日入会

篠塚 知美
（君津 RC）
居酒屋
4 月 15 日入会

芳村 哲志
（銚子東 RC）
商業銀行
4 月 16 日入会

山中 一郎
（銚子東 RC）
大学
4 月 16 日入会

吉村 類
（新千葉 RC）
民事弁護士
4 月 17 日入会

西村 祐介
（新千葉 RC）
商業銀行
4 月 17 日入会

石井 一成
（成田 RC）
都市、興業銀行
4 月 19 日入会

奥山 信行
（成田 RC）
都市ホテル
4 月 19 日入会

樋口 慎一
（成田 RC）
生命保険
4 月 19 日入会

細井 将紀
（成田 RC）
生命保険
4 月 19 日入会

八田羽 稔
（成田 RC）
ガス供給
4 月 19 日入会

宮田 輝
（船橋西 RC）
警備請負業
4 月 19 日入会

安野 克彦
（千葉 RC）
広告取扱
4 月 22 日入会

牧野 文俊
（千葉 RC）
段ボール製造
4 月 22 日入会

徳永 佳文
（松戸 RC）
地方銀行
4 月 24 日入会

中村 旬治
（松戸 RC）
地方銀行
4 月 24 日入会

船戸 美花
（千葉港 RC）
飲食店
5 月 2 日入会

伊藤 巧
（館山 RC）
証券業
5 月 4 日入会

平野 伸一
（成田コスモポリタン RC）
電設機器販売
5 月 8 日入会

阿曽 靖
（成田コスモポリタン RC）
都市ホテル
5 月 8 日入会

中臺 雅樹
（船橋 RC）
商業銀行
5 月 14 日入会

後藤 陽功
（東金 RC）
化学工業
5 月 14 日入会

久保木 宣文
（銚子東 RC）
地方銀行
5 月 14 日入会

苅込 孝司
（木更津 RC）
信用金庫
5 月 16 日入会

熱田 稔
（木更津 RC）
貯蓄銀行
5 月 16 日入会

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2019 年 4 月）

グループ	クラブ名	出席率（%）	例会数	会員数 2018 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	91.25	4	35	0	43	3	8
	市川東	100.00	3	42	2	42	2	0
	市川南	80.00	4	21	2	23	2	2
	浦安	84.70	4	44	1	45	1	1
	市川シビック	74.05	4	32	0	35	0	3
	浦安ベイ	71.11	3	15	0	15	0	0
	平均	83.52	3.67	31.50	0.83	33.83	1.33	14
第2グループ	船橋	91.61	4	30	0	30	0	0
	船橋西	73.28	4	41	7	40	7	△1
	鎌ケ谷	83.93	4	32	2	33	2	1
	船橋東	89.00	4	29	3	28	2	△1
	船橋南	91.67	4	14	1	14	1	0
	船橋みなと	86.25	4	18	4	19	4	1
	平均	85.96	4.00	27.33	2.83	27.33	2.67	0
第3グループ	千葉	81.39	3	85	4	99	4	14
	新千葉	75.02	4	49	0	56	0	7
	千葉西	88.59	3	51	4	50	4	△1
	千葉中央	88.05	3	31	0	31	-1	0
	千葉幕張	84.46	4	36	3	37	3	1
	千葉東	70.49	3	28	2	30	2	2
	千葉若潮	71.11	3	32	1	33	1	1
	平均	79.87	3.29	44.57	2.00	48.00	1.86	24
第4グループ	千葉南	67.36	4	45	6	46	7	1
	市原	69.39	2	48	3	52	4	4
	千葉港	58.00	2	24	3	27	4	3
	市原中央	73.97	3	50	1	49	1	△1
	千葉北	66.96	4	27	3	29	4	2
	千葉緑	100.00	2	23	1	21	1	△2
	平均	72.61	2.83	36.17	2.83	37.33	3.50	7
第5グループ	木更津	78.28	4	28	4	30	5	2
	上総	65.00	4	15	0	15	0	0
	富津中央	72.00	4	33	1	34	1	1
	木更津東	77.68	4	47	3	49	5	2
	君津	71.05	4	58	4	58	5	0
	袖ケ浦	87.87	3	24	4	25	4	1
	富津シティ	70.00	4	15	1	15	0	0
	平均	74.55	3.86	31.43	2.43	32.29	2.86	6
第6グループ	館山	87.78	4	46	3	46	5	0
	鴨川	93.38	4	34	5	34	5	0
	勝浦	92.07	4	39	4	42	5	3
	千倉	40.00	3	5	2	5	2	0
	鋸南	85.71	2	14	1	15	2	1
	館山ベイ	68.54	3	22	0	24	0	2
	平均	77.91	3.33	26.67	2.50	27.67	3.17	6
第7グループ	茂原	81.51	4	62	5	62	4	0
	東金	79.38	3	15	1	19	1	4
	大原	90.00	4	10	1	10	1	0
	大多喜	83.33	3	7	1	6	1	△1
	成田空港南	64.88	3	32	0	32	0	0
	茂原東	76.35	4	22	1	21	1	△1
	茂原中央	66.15	4	22	2	23	2	1
	大網	81.67	4	31	1	30	1	△1
	東金ビュー	65.00	2	20	1	19	1	△1
	平均	76.47	3.44	24.56	1.44	24.67	1.33	1

グループ	クラブ名	出席率（%）	例会数	会員数 2018 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	84.58	4	40	3	39	3	△1
	旭	68.00	3	45	4	44	4	△1
	八日市場	67.82	4	37	2	39	3	2
	銚子東	79.88	4	29	2	32	2	3
	平均	75.07	3.75	37.75	2.75	38.50	3.00	3
第9グループ	佐原	71.43	4	50	0	50	0	0
	多古	75.00	4	17	0	17	0	0
	小見川	82.10	4	24	0	27	0	3
	佐原香取	75.00	4	24	1	24	1	0
	平均	75.88	4.00	28.75	0.25	29.50	0.25	3
第10グループ	成田	71.48	4	72	5	69	4	△3
	八街	88.76	4	29	3	30	3	1
	印西	65.17	4	20	1	19	1	△1
	白井	51.28	3	14	1	13	1	△1
	富里	52.68	3	29	0	32	0	3
	成田コスモポリタン	67.81	4	68	0	70	0	2
	平均	66.20	3.67	38.67	1.67	38.83	1.50	1
第11グループ	柏	73.86	4	65	10	66	10	1
	我孫子	85.48	3	27	2	31	3	4
	柏西	82.35	4	67	3	68	3	1
	柏東	83.18	4	41	9	41	8	0
	柏南	82.76	3	41	6	40	8	△1
	平均	81.53	3.60	48.20	6.00	49.20	6.40	5
第12グループ	習志野	74.86	4	23	2	25	1	2
	八千代	86.46	4	51	0	52	0	1
	佐倉	65.69	5	31	3	35	3	4
	八千代中央	68.70	3	22	1	23	1	1
	四街道	64.19	4	26	3	29	4	3
	習志野中央	65.27	3	49	4	48	4	△1
	佐倉中央	78.65	3	22	6	25	6	3
	平均	71.97	3.71	32.00	2.71	33.86	2.71	13
第13グループ	松戸	93.97	4	58	0	62	0	4
	松戸東	95.78	4	47	0	49	0	2
	松戸北	74.47	4	40	0	38	0	△2
	松戸中央	81.68	4	42	7	45	7	3
	松戸西	89.66	4	29	0	29	0	0
	平均	87.11	4.00	43.20	1.40	44.60	1.40	7
第14グループ	野田	78.63	4	52	7	55	6	3
	流山	68.88	3	14	3	15	3	1
	野田東	72.37	4	21	0	20	0	△1
	流山中央	68.30	3	23	2	22	2	△1
	野田セントラル	80.00	4	25	1	25	1	0
	平均	73.64	3.60	27.00	2.60	27.40	2.40	2

クラブ数 83RC

2018 年 7 月 1 日	地区会員数	2,797 人
2019 年 4 月末日	地区会員数	2,889 人
2018 年 7 月 1 日	地区女性会員数	189 人
2019 年 4 月末日	地区女性会員数	201 人
	当月平均出席率	77.95%
	増減	+92
	女性会員増減	+12

6月のロータリーレート

110円

第３回松戸ＲＣ文化・スポーツ大賞表彰式報告

去る３月６日に、松戸商工会議所５階大会議室において「松戸 RC 文化・スポーツ大賞表彰式」を開催しました。この事業は当クラブが主催し、松戸市、松戸市教育委員会が後援する教育支援事業であり、本年で３回目を迎えるものです。

昭和 60 年にクラブ創立 30 周年の記念事業として、経済的な理由により就学が困難な高校生を支援することを目的とした「松戸ロータリークラブ奨学基金」を設立しました。この基金は会員からの特別寄附を財源とするもので、約 26 年間に渡り毎年 4~7 名の高校生に月額 15,000 円の奨学金を給付し続けてきました。

平成 22 年の高等学校授業料無償化の流れを受け、この奨学金事業は縮小休止の方向に向かいましたが、「青少年育成に貢献し続ける松戸ロータリークラブ」を標榜する当クラブは、その後も様々な形で松戸市内の中学校や高等学校の文化活動の支援を行ってきました。

そして平成 28 年、クラブ創立 60 周年を機に市内の中学校、高等学校の文化部、運動部の活動を支援することを目的として「松戸 RC 文化・スポーツ大賞」を創設しました。これは全国大会またはそれに準じる大会に出場し優秀な成績を収めた部活動に対し、その栄誉を表彰し副賞を授与するという事業であり、この事業を通じ、地域社会への奉仕というロータリー運動の目的達成を図るとともに、青少年が心身を鍛え、信頼と友情を深め、より高い夢の実現を目指すことを支援し、その活動を地域に広く周知することによって郷土の誇りが醸成することを目的としたものであります。

昨夏に市内のすべての中学校、高等学校に募集要項を配布したところ、本年度は 29 の部活動にエントリーをしていただきました。

１月 23 日に開催した選考委員会には、松戸市教育委員会より保健体育課長と指導課長の２名の方に参与として参加していただき、的確なアドバイスの下で厳正に議論を重ねた結果、優秀賞として栗ヶ沢中学校陸上競技部、第四中学校吹奏楽部、古ヶ崎中学校水泳部の３つの部活動が選ばれ、奨励賞として市立松戸高等学校陸上競技部、同高等学校弓道部、県立松戸国際高等学校陸上競技部、同高等学校ウェイトリフティング部、第一中学校合唱部、県立松戸六実高等学校吹奏楽部、同高等学校陸上競技部、第六中学校男子卓球部、同中学校管弦楽部、和名ヶ谷中学校男子バレーボール部、旭町中学校男子バレーボール部、小金中学校陸上競技部、専修大学松戸高等学校放送部、新松戸南中学校陸上競技部の 14 の部活動が選ばれ、２月６日に開催された理事会でこれが承認されました。

移動例会として開催した表彰式には、松戸市長本郷谷健次様、松戸市教育長伊藤純一様、松戸市議会議長山口栄作様のご臨席を賜り、受賞した 17 の部活動から約 80 名の先生、生徒が出席し、森田雅久会長から優秀賞を受賞した３つの部活動に対し、それぞれに記念の盾と 10 万円相当の副賞が授与され、奨励賞を受賞した 14 の部活動に対し、それぞれに記念の盾と５万円相当の副賞が授与されました。

GOVERNOR'S
MONTHLY COMMUNICATION

Rotary

インスピレーションになろう

【今月の表紙】　京成バラ園

八千代市の「京成バラ園」は、世界に誇れるバラの作出と日本にバラの文化を広めたいとの思いから設立され、世界のバラコンクールにおいて数多くの賞を受賞しています。30,000㎡の園内には整形式庭園、自然風庭園、散策の森があり、バラを中心として様々な樹木・草花が四季折々に彩ります。
2019年6月16日(日)まで「ローズフェスティバル2019」開催中です。詳細は京成バラ園ホームページをご覧ください
https://www.keiseirose.co.jp

ガバナー公式訪問報告

習志野RC・習志野中央RC　合同（11月14日）

習志野RC

習志野中央RC

成田空港南RC　（11月22日）

千葉幕張RC・千葉東RC・千葉若潮RC　合同（11月26日）

千葉幕張RC

千葉東RC

千葉若潮RC

ガバナー月信6月号　2019年6月1日発行／2018-19年度国際ロータリー第2790地区ガバナー事務所　ガバナー　橋岡 久太郎
〒260-0042 千葉市中央区椿森 3-1-1-302　TEL043-284-2790　FAX043-256-0008　E-mail:18-19gov@rid2790.jp　URL: http//:www.rid2790.jp/

PUBLISHER ／ ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790 GOVERNOR KYUTARO HASHIOKA
OFFICE ／ 3-1-1-302 TSUBAKIMORI CHUO-KU CHIBA-CITY CHIBA JAPAN 260-0042　TEL +81-43-284-2790　FAX +81-43-256-0008